SONY

3-067-952-**02** (1)

DirectCD ™

ソフトウェア取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MVC-CD200/CD300

- Adaptecはアダプテック社の登録商標です。
- Easy CD Creator、DirectCDはアダプテック社の商標です。
- Microsoft、MS、MS-DOS、およびWindowsは、Microsoft Corporationの登録商標です。
- MacintoshおよびMac OSは、Apple Computer, Inc.の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお本文中では、™や®は、明記していない部分もあります。

目次

CD-Rをご使用になる場合とCD-RWをご使用になる場合とでは、操作が異なります。それぞれの操作について詳しくは、「DirectCDを使用する場合のご注意」（6ページ）と「ディスクを取り出す」（12ページ）をご覧ください。

はじめに

本書では、本機に付属のアプリケーションDirectCDのインストール方法と基本的な使いかたについて説明します。
付属のCD-ROM内のPDFファイルの内容と本書の内容が異なる場合は、本書の内容を優先してください。

ご注意

Mac OS**をご使用の場合、**DirectCD**をインストールすることはできません。**ファイナライズしたディスクをMac OSで読むためには、本機に付属のSPVD-006と書かれたCD-ROMから「Adaptec UDF Volume Access」をシステムフォルダにコピーして、再起動してください。

DirectCDを使ってできること

DirectCDがインストールされているWindowsパソコンと本機をUSBで接続すると、次の操作が可能になります。

- 本機で撮影した画像ファイルをパソコンに送り、パソコンで再生する（ファイナライズしていなくても可能）。
- CD-R/RWドライブが搭載されているパソコンの場合、本機で撮影した画像をファイナライズせずに、直接ディスクから読み出しまたは書き込みできる。

DirectCDに必要なWindowsのシステム環境

- Pentium 166 MHz以上のプロセッサーを搭載したパソコン
（本機と併用する場合は、MMX Pentium 200 MHz以上）
- 32 MB以上のRAM
- 45 MB以上のハードディスク空き容量
- 800×600以上の解像度を持ち、256色以上を表示できるディスプレイ
- Internet Explorer 4.01以上
- 対応OS：Microsoft Windows 95、Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional

本機とUSB接続するために必要なWindowsのシステム環境

- OS：Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記OS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。
- CPU：MMX Pentium 200 MHz以上
- USB端子が標準で装備されていることが必要です。

DirectCDを使用する場合のご注意

CD-Rを使用するとき

付属のDirectCD v3.01c_S55は、本機とパソコンをUSB接続するときに必要なライティングソフトです。お使いのパソコンにCD-R/RWのライティングソフトが既に入っている場合は、以下の流れ図に沿って最適な方法をお選びください。

スタート

現在お使いのパソコンにライティングソフトがインストールされていますか？

- **いいえ** →

DirectCDをインストールする前に

ファイナライズしてあるディスクをCD-ROMドライブで読み出すだけなら、DirectCDは不要です。ファイナライズしていないディスクから読み出しまたは書き込みをするには、パソコンと本機をUSB接続した上で、DirectCDをインストールすることが必要です。USB接続については本機の取扱説明書をご覧ください。

- **はい** ↓

パソコンにインストール済みのライティングソフト

DirectCD v3.01c_S55よりも前のバージョンのDirectCD

- **はい** → お使いのパソコンの**DirectCDを削除せずに**、付属のDirectCDをインストールしてください。
- **いいえ** ↓

DirectCD v3.03a_S2およびそれ以降のバージョンのDirectCD

- **はい** →

この枠内に進んだ場合、付属のDirectCDをインストールしないでください。パソコンに不具合が生じることがあります。

お使いのパソコンのDirectCDがそのままお使いになれます。

- **いいえ** ↓

それ以外のバージョンのDirectCD

- **はい** → 本機とパソコンのUSB接続はできません。ディスクを直接パソコンのドライブに入れてご使用ください。ファイナライズは不要です。
- **いいえ** ↓

DirectCD以外のソフトウェア

- **はい** → 本機とパソコンのUSB接続はできません。ディスクを本機でファイナライズしてから直接パソコンのドライブに入れてご使用ください。

お使いのパソコンのDirectCDのバージョンを確認するには
［スタート］→［プログラム（P）］→［Adaptec DirectCD］→［DirectCD ウィザード］の順番で選んでください。起動画面の上部で確認できます。

CD-RWを使用するとき

- 本機以外の機器でフォーマットしたCD-RWはご使用になれません。本機でもう1度フォーマットしてください。
- CD-RWの画像をCD-ROMドライブまたはCD-Rドライブで見る場合は、ドライブがマルチリード（MultiRead）に対応している必要があります。
- CD-RWドライブでお使いの場合は、CD-Rをお使いのときと同様にご使用いただけます。

ご注意

お持ちのCD-R、CD-RWドライブの種類によっては、DirectCDを使用することができません。

DirectCDをインストールする

本機とUSB接続をする場合は、USBケーブルを接続する前に、必ずUSBドライバーをインストールしてください。接続について詳しくは、本機の取扱説明書をご覧ください。

例：Windows Me**をお使いの場合**

❶ パソコンを起動し、SPVD-006と書かれたCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。

下記の画面が表示されます。必要に応じて言語を選ぶことができます。



ここをクリックする

画面が表示されない場合は、CD-ROMの「SETUP.EXE」を起動してください。

❷ [DirectCD] をクリックする。

「ようこそ」ウインドウが表示されます。



❸ [次へ] をクリックする。

❹ ライセンス契約をよく読み、同意する場合は［はい］をクリックする。

❺ インストール先のフォルダーを確認する。

あらかじめセットされたインストール先以外のフォルダーにインストールする場合は［参照］をクリックして、フォルダーを選択してください。

❻ ［次へ］をクリックする。

プログラムのセットアップが開始され、パソコンへのファイルのコピーが始まります。

インストールが完了すると、最初の画面に戻ります。

❼ ［終了］をクリックする。

「セットアップの完了」ウインドウが表示されます。

DirectCDは再起動後に有効になります。［はい、直ちにコンピュータを再起動します。］をチェックし、［終了］をクリックします。

Easy CD Creator**についてのご注意**

本機をUSB接続した状態で、Easy CD Creatorを使うことはできません。

DirectCDを使う

本機をUSBでパソコンと接続するには、パソコンにUSBドライバーがインストールされている必要があります。
USBドライバーのインストールについては、本機の取扱説明書の「USBドライバーをインストールする」をご覧ください。

USBドライバーをインストールする前に、本機とパソコンをUSBケーブルで接続しないでください。

また、USBで接続したときのディレクトリー構造については、本機の取扱説明書の「画像ファイルの保存先とファイル名」をご覧ください。

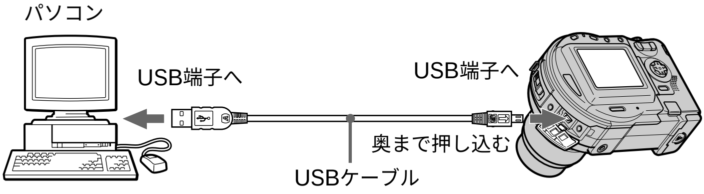
ご注意
ディスクにデータを書き込んだ場合、ディスクを本機から取り出す前に、必ず[取り出し]の操作(12ページ)を行ってください。これを行わないで、ディスクカバーを開けてディスクを取り出したり、USBケーブルをはずしたりすると、ディスクのデータが壊れることがあります。

DirectCDを起動する

DirectCDを使ってのイニシャライズ(DirectCD画面上の「フォーマット」)は行わないでください。イニシャライズは必ず本機で行ってください。

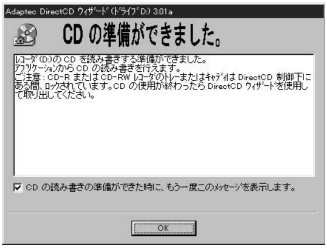
本機の取扱説明書の「イニシャライズ」とDirectCDの画面上の「フォーマット」はディスクを使い始めるときに必要な操作ですが、互換性がありません。また、本機の取扱説明書の「フォーマット」はCD-RWのすべての記録を消去する機能のことで、DirectCDの画面上の「フォーマット」とは異なります。

❶ 本機にディスクを入れ、パソコンとUSBケーブルで接続する。



❷ 本機とパソコンの電源を入れる。

「CDの準備ができました」というメッセージが表示されます。
このメッセージが表示されないときは、WindowsタスクバーのCDアイコン  をダブルクリックします。



❸ [OK] をクリックする。

ディスクにデータを書き込む

次のいずれかの方法でディスクにデータを書き込むことができます。

- Windowsエクスプローラからディスクアイコンへ、ファイルをドラッグアンドドロップする。
- Windowsのアプリケーションのファイルメニューから[名前を付けて保存]をクリックし、本機のドライブ文字を選択する。
- [送る]コマンドを使用する。
- WindowsのDOSウインドウで、MS-DOSのコマンドプロンプトを使用する。

ご注意

- 書き込んだデータのファイル名がDSC0□□□□.JPGという形式になっていないと本機では再生できません。詳しくは、本機の取扱説明書の「画像ファイルの保存先とファイル名」をご覧ください。
- 書き込んだデータによっては、本機で再生できないことがあります。

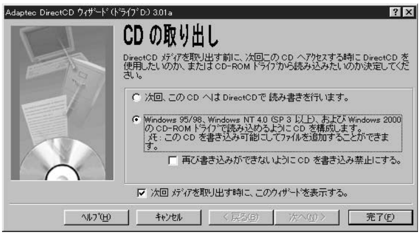
ディスクを取り出す

ご注意
ディスクにデータを書き込んだ場合、ディスクを本機から取り出す前に、必ず[取り出し]の操作を行ってください。これを行わないでUSBケーブルをはずすと、ディスクのデータが壊れることがあります。
また、ディスク内のファイルを画像表示アプリケーションで開いている場合は、[取り出し]の操作を行う前にそのアプリケーションを終了させてください。

CD-Rの場合

1 タスクバーのDirectCDアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストボックスから［取り出し］をクリックする。

「CDの取り出し」ウインドウが表示されます。



2 オプションを選択する。

- **ファイナライズしない場合は**一番上を選択します。
- **ファイナライズして、CD-ROMドライブで読み込めるようにする場合は、**その下のオプションを選択します。このとき、［再び書き込みができないようにCDを書き込み禁止にする。］のオプションをチェックすると、ディスクへの追記・修正・改ざんができなくなります。ディスクの内容をこのまま保存する場合にチェックしてください。

3 本機のACCESSランプが消えたことを確認してから、ディスクカバーを開けてディスクを取り出す。

CD-RWの場合

❶ **タスクバーのDirectCDアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストボックスから［取り出し］をクリックする。**

❷ **本機のACCESSランプが消えたことを確認してから、画面の［OK］をクリックしディスクカバーを開けてディスクを取り出す。**

ディスクデータの追加と削除

ディスクへデータを追加する

ディスクの空き容量がある限りデータを追加できます。操作手順は次のとおりです。

❶ ディスクを本機に入れて、USBケーブルでパソコンに接続する。

❷「CDの準備ができました」ウィンドウが表示されたら、［OK］をクリックし、ディスクにデータを追加する。

ディスクからデータを削除する

ファイルを削除してもディスクの使用可能スペースは増えません。ファイルを削除すると、そのファイル名が画面に表示されなくなりますが（Windowsエクスプローラでは見えません）、そのファイルが書き込まれていたスペースに別のファイルを書き込むことはできません。
操作手順は次のとおりです。

❶ Windowsエクスプローラで削除したいファイルをクリックする。

❷ ファイルメニューの［削除］をクリックするか、Deleteキーを押す。

❸ ファイルを削除してもよいかもう1度確認し、［はい］をクリックする。

選択したファイルが消去されます。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

VOC (揮発性有機化合物）1%以下植物油インキ使用

3 0 6 7 9 5 2 0 2